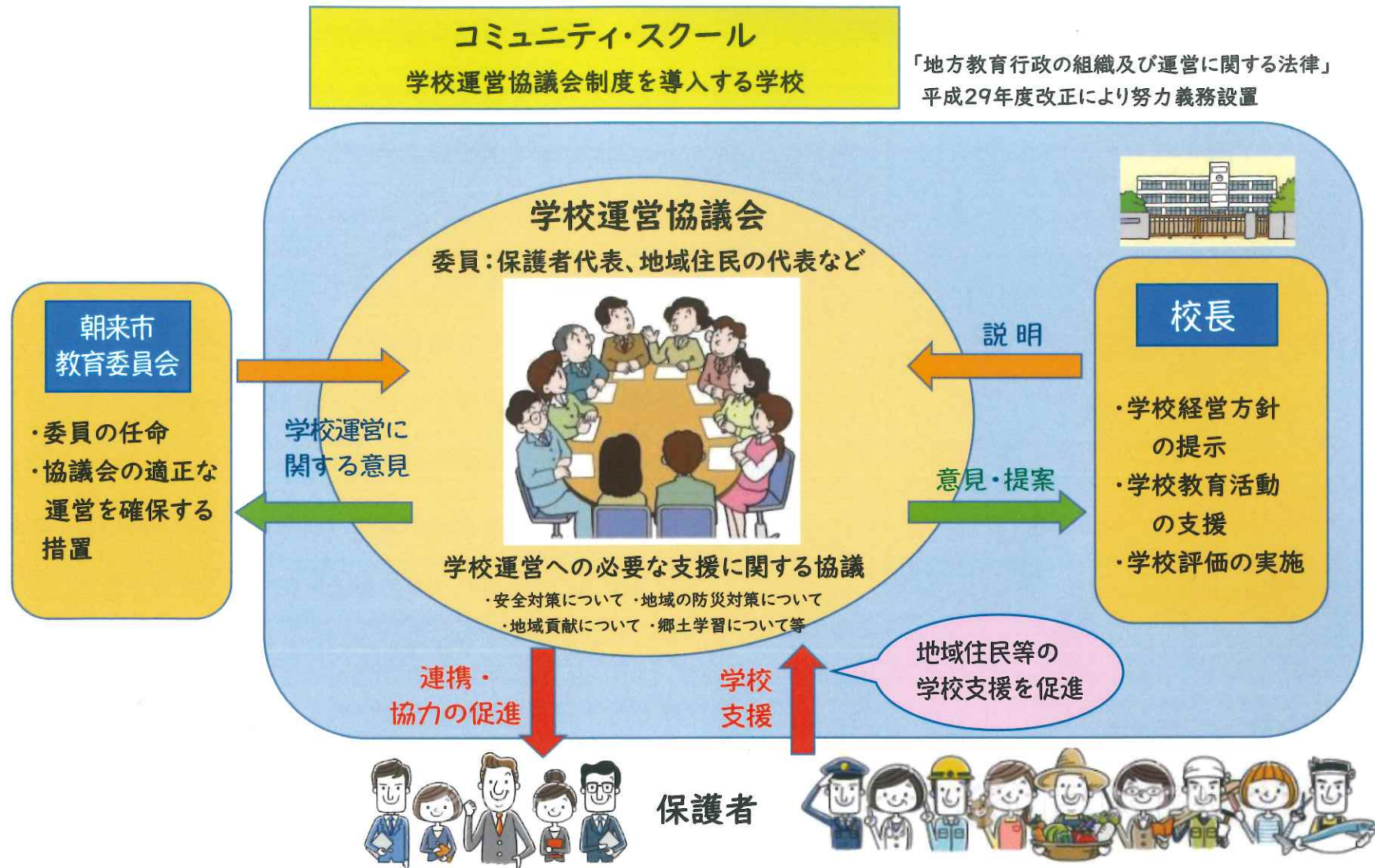


令和2年度から小・中学校に導入する学校運営協議会制度のしくみ

目的：学校運営への保護者、地域住民等の参画と協同を促進し、学校を応援し、
地域の実情を踏まえた特色ある学校づくりを進める



コミュニティ・スクールのメリット・魅力は何？

※コミュニティ・スクール導入のメリット
(学校運営協議会制度)

①組織的・継続的な体制の構築 = 持続可能性

校長や教職員の異動があっても、学校運営協議会によって地域との組織的な連携・協働体制がそのまま継続できる「**持続可能な仕組み**」です。




②当事者意識・役割分担 = 地域総がかり

学校運営協議会や話し合いの場を通じて、子どもたちがどのような課題を抱えているのか、地域でどのような子どもを育てていくのか、何を実現していくのかという「**目標・ビジョンを共有**」できます。

③目標・ビジョンを共有した「協働」活動

校長が作成する学校運営の「**基本方針**」を通して、学校や地域、子どもたちが抱える課題に対して関係者全員が当事者意識を持ち「**役割分担をもって連携・協働による取組**」ができます。

※学校運営や学校課題に対し、広く**保護者や地域住民が参画できる仕組**です。当事者として、子どもの教育課題や目標を共有することで、学校を支援する取組が充実すると共に、関わる全ての人に**様々な魅力が広がっていきます**。

魅力	子ども	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもたちの学びや体験活動が充実します。 ○ 自己肯定感や他人を思いやる心が育ちます。 ○ 地域の担い手としての自覚が高まります。 ○ 防犯・防災等の対策によって安全・安心な生活ができます。 	
	教職員	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域にも関心が向くようになり教職員の視野が広がります。 ○ 地域人材を活用した教育活動が充実します。 ○ 地域の協力により子どもと向き合う時間が確保できます。 	
	保護者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校や地域への理解が深まり、家庭教育との相乗効果が生まれます。 ○ 地域の中で子どもたちが育てられるという安心感があります ○ 保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できます。 	
	地域住民	<ul style="list-style-type: none"> ○ 経験を生かすことで生きがいや自己有用感につながります。 ○ 学校を核にネットワークが形成され、地域の課題解決が可能。 ○ 学校が社会的つながりの中心となり、地域のよりどころとなります。 ○ 地域の防犯・防災体制等の構築ができます。 	